

令和2年度第1回 遠軽地域まちづくり会議 検討資料

R2.8.3（月）18：30～

遠軽町福祉センター2階2号会議室

遠軽町総務部企画課



遠軽地域の課題・特性・背景

- 人口減少 合併時18,254人→現在15,975人 (△13%)
- 新町の一体感と各地域の特色を生かしたまちづくり
- 家賃水準が高い
- 高校卒業後に町を離れる子どもが多い
- 子ども・若者の視点を入れたまちづくり
- スポーツ合宿の受け入れが盛ん
- 高規格道路遠軽 I C 開通と道の駅開業
- メトロプラザ、中心市街地整備
- 新しい日常、アフターコロナ対応 (臨時交付金4.6億円)



前回のまとめ（今回の討議テーマ）

- 若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり
- 合宿誘致を促進する
- ふるさと納税を促進する（返礼品充実）



1 若者が住みたくなる、住み続けたく なるまちづくり

- しごと
- 住まい
- 住み良さ
- お金

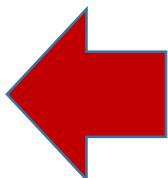


【検討例】

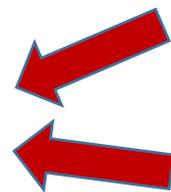
要因

施策

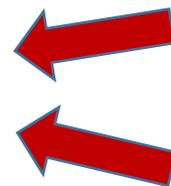
移住・定住



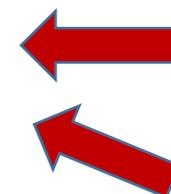
しごと



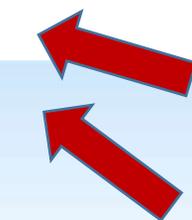
住まい



住み良さ



お金



産業振興

起業支援

公営住宅

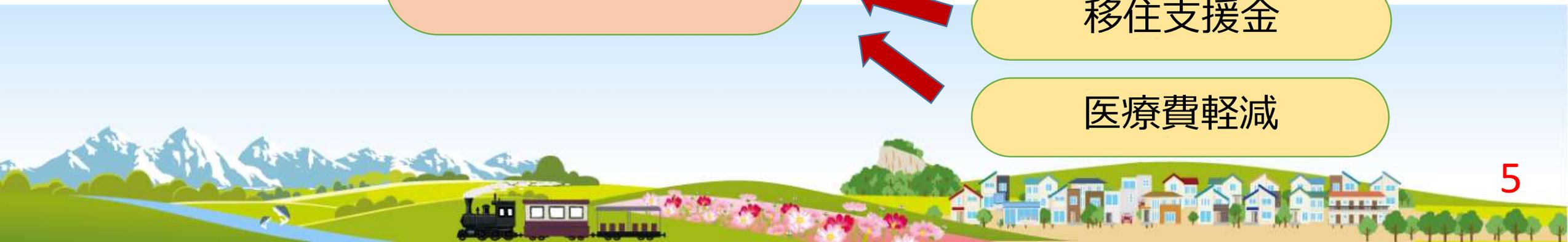
家賃補助

インフラ整備

教育・医療環境

移住支援金

医療費軽減



【検討例】

ターゲット

若者定住

しごと

住まい

住み良さ

お 金

(財源) 一般財源

背景・地域特性・解決したい課題

- ・若者に地元企業に就職してもらいたい
- ・家賃水準が高いが、住宅手当制度などがない事業所が多い
- ・民間住宅は一定程度供給されている

具体的内容

【町内企業への就職支援事業】

- ・町内に本社のある事業所に就職する若年者に家賃補助（年限あり）

【若者が住みたい、住み続けたいまちにするための提言】

背景・地域特性・解決したい課題

要因

Four empty rounded rectangular boxes stacked vertically, intended for listing factors.

A large empty rounded rectangular box intended for describing background, regional characteristics, and issues to be solved.

具体的内容

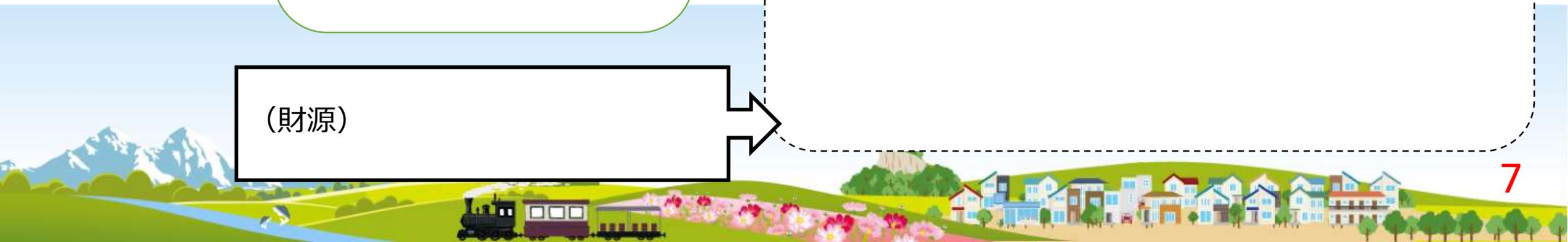
A large empty rounded rectangular box with a dashed border, intended for detailing specific content.

(財源)

A rectangular box with a black border, intended for specifying financial resources.

ターゲット

A vertical green rounded rectangular box intended for defining the target audience.



2 合宿誘致

- 施設面
- 金銭支援
- 誘致活動
- 地元との交流



要因

練習環境

宿泊場所

地域と交流

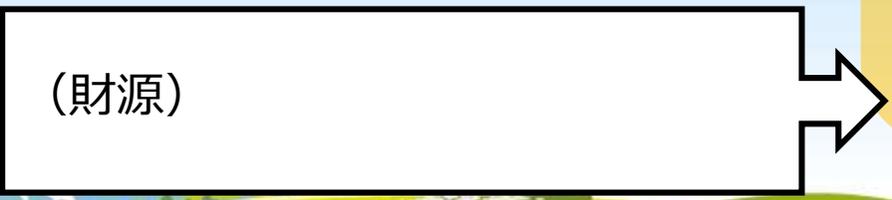
お金

- ・メトロプラザ整備
- ・人工芝グラウンドなどのスポーツ施設
- ・ホテル・旅館の活用
- ・設備（WI-FI、トイレ、シャワー）
- ・食事
- ・補助制度

具体的内容

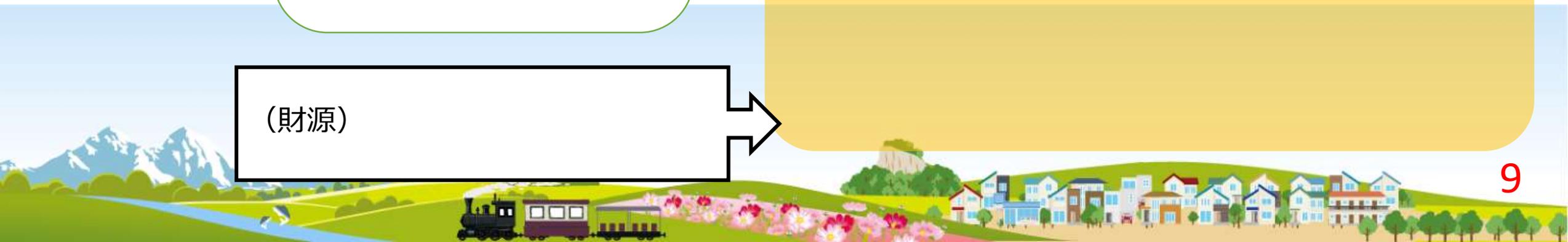


(財源)



合宿

ターゲット



3 ふるさと納税の促進

- R 1 年度実績 約2,310万円
- 遠軽町は流出超過？
- 紋別市は70億円超
- 返礼品は約50品目
- R 2 . 4 ~、(株) だいいち水産加工品を返礼品に追加
- R 2 年度から受付事務を商工会議所に委託 (道内初)
- 企業版ふるさと納税受け入れ開始R2.7~

• 返礼品の充実

• 企業版ふるさと納税

• P R 方法



4 公共施設見直しの視点

- 人口規模に合わせる
- 類似施設を統合
- 「新しい日常」への対応
- 使いやすさの向上
- 維持管理費の縮減

※ 「今まで」から切り替え「これから」を考える。

